

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名

新潟大学

学部・研究科等名

保健学研究科

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 研究活動の状況

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

顕著な変化のあった観点名 研究活動の実施状況

博士後期課程の学年進行が平成 22 年 3 月で終了し、研究科が充実されるとともに、教員の研究活動が一層展開されたことにより、その成果が蓄積され、著書・学术论文及び学会発表数の増加(資料 1)、研究資金の獲得数の増加(資料 2)および学会賞等受賞数の増加(平成 19 年度 2 件、平成 20 年度 3 件、平成 21 年度 9 件。代表的な受賞を資料 3 に示す。)に結びついた。特に、国際会議での発表の件数は、平成 19 年度に比べて平成 21 年度では約 2 倍になった。さらに、研究活動の内容を学会やセミナー等を通じて積極的に情報発信することによって、共同研究及び受託研究の件数が増え、金額にして、平成 19 年度に比べて平成 21 年度では約 5 倍になった。この研究活動の実施状況は顕著な変化があったと判断する。

資料 1 著書・学术论文及び学会発表数

区 分		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
著書及び学术论文	日本語論文	92	136	121
	英語論文	50	55	68
	総 数	142	191	189
国際会議発表		28	38	59
その他の学会発表		256	257	271

資料 2 研究資金の獲得状況

(金額：千円)

区 分	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
科学研究費補助金	15	19,600	15	19,800	22	26,000
共同研究	0	0	3	2,010	2	920
受託研究	4	2,860	9	9,391	7	12,713

資料 3 保健学研究科を代表する受賞等(平成 20, 21 年度)

項 目	氏 名	内 容	受賞年月
Cum Laude 賞 : RSNA (Radiological Society of North America), RSNA 2008	李 鎔範	放射線医学分野において世界で最も権威のある学会 RSNA から 2008 年度の年次大会の「Cum Laude」(優秀賞)を受賞。	平成 20 年 12 月
医用画像情報学会 功績賞	佐井篤儀	日本の医用画像情報学分野を代表する医用画像情報学会における最高の学会賞で、同学会で最高の栄誉と言われている。	平成 21 年 6 月
Biological & Pharmacological Bulletin 優秀論文賞	仲澤幹雄	この賞は、日本薬学会における最高の英文誌の論文賞である。	平成 22 年 3 月